中期経営計画

当社は2023年度より3カ年の中期経営計画を策定・スタートしております。本中期経営計画においては、各市場の変化への対応に向けた各主要推進項目の取り組みに合わせ、主に半導体業界向け事業を将来の成長ドライバーとして注力することで、安定的な収益を実現できる事業ポートフォリオの構築に努めてまいります。また、かねてより取り組んでおります次世代モビリティ・次世代エネルギー市場に向けた「環境・省エネに資する次世代独自技術製品」の開発も継続し、各市場に提案することで、本計画の達成を目指すとともに中長期的な成長を果たしてまいります。

基本方針

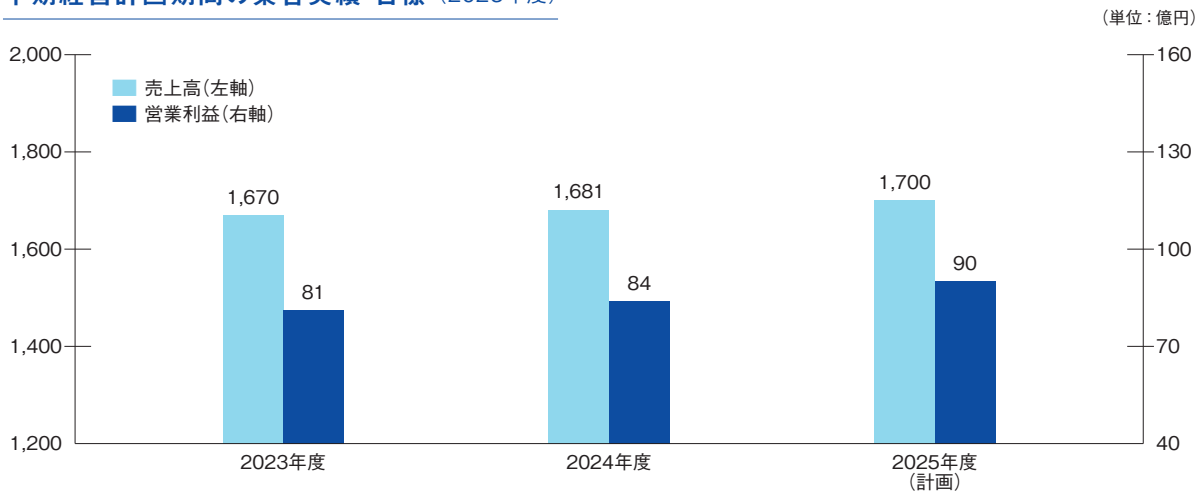
持続性ある企業体質の構築 ～ Fly Sky High! ～

期間　2023年度～2025年度

主要推進項目

1. 変化への巧緻的対応
2. ESG経営
3. 永遠のゼロ ―「顧客から信頼される製品品質の確保」「世界同一品質の確保」の実現
4. TCD／ムダ半 ―「Total Cost Down」「ムダの排除～すべてを半分に～」
5. DXの推進
6. 次世代独自技術製品
7. 人間尊重／人財育成

中期経営計画期間の業容実績・目標（2025年度）



2024年度の振り返り

自動車・建設機械業界向け事業と半導体業界向け事業は伸び悩みましたが、一般産業機械業界向け事業、舶用業界向け事業および航空宇宙業界向け事業が堅調に推移したことにより、2024年度の当社売上高は1,681億72百万円（2023年度：1,670億42百万円）、営業利益は84億94百万円（2023年度：81億7百万円）となりました。なお、経常利益は当初計画を上回ったものの、親会社株主に帰属する当期純利益については、当初計画を下回る結果となりました。

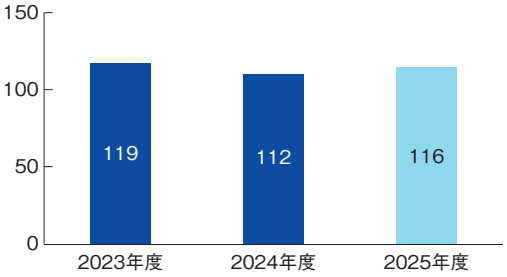
中期経営計画期間中の設備投資計画とその現況

中期経営計画期間中の設備投資総額は、半導体業界向け事業を中心に約350億円の見通しです。

2024年度の設備投資については、当初計画の125億円から約13億円減の112億円となりました。

2025年度の設備投資は、116億円を計画しています。主に自動車・建設機械業界向け事業および航空宇宙業界向け事業の生産能力増強等に向けた設備投資を実施する予定です。

▼ **設備投資実績・計画** （単位：億円）



つくば事業場 新棟（2024年7月竣工）

事業上の課題と今後の事業展開

自動車・建設機械業界向け事業においては、グローバル自動車生産台数に占めるEV等の割合は今後も増加し、内燃機関向けの従来品目の販売減少傾向は続く見通しです。また、米国の貿易政策の動向などもあり、事業の見通しは極めて不透明な状況にありますが、コストダウン活動と合わせ、EV向け新製品等の開発・拡販およびさらなる販売価格の見直しを進め、収益確保に向けて継続的に取り組んでまいります。

半導体業界向け事業は、市場における当社製品の在庫過多により当初計画を下回る結果となった一方、2024年度下期からの販売は回復傾向に入っており、2025年度の販売は2023年度と同程度まで回復する見通しですので、合わせて新製品の拡販の取り組みを継続し、2026年度以降の黒字回復を図ってまいります。

「次世代独自技術製品」開発の状況

自動車・建設機械業界向け事業

サスペンション用バルブ

車両の操縦安定性および乗り心地を両立させることを目的とした、ショックアブソーバの減衰力を最適な状態に制御するバルブです。

半導体業界向け事業

ハイブリッドシール

磁性流体シール・ロータリージョイント・Oリング・金属ベローズを組み合わせ、ユニット化した製品。電源、信号、高周波電源用等、様々な用途に対応し、取り扱い性の向上、コンパクト化に貢献します。